

野生生物の生育・生息空間の確保

事例名	21. 小動物スロープ
工事名	基盤整備促進事業本小屋地区
施行場所	東彼杵郡川棚町
事業年度	H10～H16
実施機関	川棚町役場
適応可能な事業	道路

<具体的な環境配慮内容>

道路側溝に落ちた小動物が脱出できるよう非常口として、山側へスロープを設けた。

<環境配慮の目的と視点>

道路側溝に進入した（落ちた）小動物（ヘビ・カエル等）が、側溝をはい上がることができず、死んでいる光景をよく見かける。どうすれば側溝からはい上がれるか、またお金をかけずに出来ないか検討した。

<環境配慮技術の概要>

道路側溝として利用している3U300B型側溝工の山側の側壁を、天端から約25cmの所で切断し、モルタル吹付工を行う。間隔は現地の状況に応じて施工する。（100～200mに1箇所）





<環境配慮による効果>

側溝で死んでいる小動物をあまり見なくなった。

<課題等>

なし

<同技術を採用した他の事例>

工事名称	実施機関